

授 業 科 目 名	国際関係				
担 当 教 員	フルート・フォルカー				
学 期	前期	曜日・時限	水曜日・1 - 2時限	単位	2単位
【授業としての具体的到達目標】 国際関係（論）の歴史、理論、構造と課題の科学的理解。					
【授業の概要】 授業内容の予定と形式・方法を参照。					
【授業内容予定】  1) 国際関係論への入門、テキストの紹介  第2回～第4回 国際関係の歴史 2) International Relations before the Second World War (第2次世界戦争以前の国際関係) 3) International Relations after the Second World War (第2次世界戦争以降の国際関係) 4) International Relations after the Cold War (冷戦以降の国際関係)  第5回～第8回 国際関係の理論 5) Realism (リアリズム / 現実主義) 6) Liberalism (リベラリズム / 国際協調主義) 7) Marxism and Neo-Marxism (マルクス主義とネオマルクス主義) 8) Neo-Realism and Neo-Liberalism (ネオリアリズムとネオリベラリズム)  第9回～第12回 国際関係の構造 9) International Organizations and NGOs (国際機関と NGO) 10) United Nations (国際連合) 11) International Law (国際法) 12) Regionalism (リージョナリズム / 地域統合)  第13回～第15回 グローバルな課題 13) International Security (国際社会の安全保障) 14) Nuclear Deterrence and Proliferation (核抑止論と核拡散) 15) Human Rights (人権)					
【教材・テキスト】 Jeffrey Haynes et al.: <i>World Politics, International Relations and Globalization in the 21<sup>st</sup> Century</i> (2 <sup>nd</sup> Edition, London et al.: Sage, 2017)					
【参考文献】 佐々木裕太『国際政治史 - 世界戦争の時代から 21 世紀へ』名古屋大学出版会 2011 年 大芝亮『国際政治理論 - パズル・概念・解釈』ミネルヴァ書房 2016 年					
【成績評価の方法および採点基準】 授業への積極的な参加とレポートの提出 (2～3回)					
【授業形式・形態および授業方法】 対話形式 (日本語) で専門的な英語文献分析。第2回から毎回の授業の前に15・20ページ程度の上記のテキストの部分を準備することが必須です。					
【留意点・予備知識等】 専門的な文献に対応できる程度の英語読解力が必須です。					